

令和3年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 大橋小学校プラン

《学校教育目標》 進んで学び ともに高めあい やりぬく大橋っ子の育成

《本年度 学校重点目標》 チャレンジしあきらめない大橋っ子の育成

身につけた基礎的・基本的な学習内容を、新たな問題解決にいかす。

【つくる力】

物事について、自分で考えるとともに、お互いの考え方を認め合う。

【つなぐ力】

目標を決め、その達成に向けて工夫しあきらめないで、取り組み続ける。

【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①子どもの思考を促す発問を工夫し、子どもの思考が連続・発展し、自分の考えを話したくなる授業づくりを行う。(1日1時間) 【成果指標】授業の中で自分の考えを伝えたり聞いたりして楽しく取り組めた割合が85%以上
- ②子どもの実態に合わせて、少人数でのきめ細やかな学習指導や、一人一人のニーズに応じた支援を行えるように担任外や支援員の効果的な配置を行う。(毎週火曜日の放課後に来週の計画を作成)
- ③1人1台の端末を活用して、自分の考えを交流したり、情報を収集したりする授業づくりや、定着を図る繰り返し学習を行う。(毎日)
【成果指標】中学年以上で「授業で1日1回以上タブレット等のICTを使用している」と答える児童の割合が80%以上
- ④児童がペアで自分の思いや考えを外国語で伝え合う活動を行う。(外国語及び外国語活動 毎時間)

笑顔の先生

- ①学習のまとめや振り返りを自分の言葉で書く場を設ける。(国語、算数、理科、社会、道徳)
- ②学校行事後に振り返りを行い、具体的な業務内容の改善策について話し合う。(毎回職員会議)
【成果指標】児童アンケート「先生がわかるまで教えてくれる」と答える児童が90%以上

協働する学校・家庭・地域

- ①家庭学習習慣の定着・強化のために、「家庭学習がんばり表」で毎週家庭学習の取組を評価する。
【成果指標】毎日の家庭学習時間10分×学年+αに取り組む児童90%以上
- ②メディアの使用時間を適切にするために、「スローメディア週間」を設定し、「家読タイム」を増やす取組を行う。
- ③表現力等の育成をねらいとした授業を年間3回公開する。

楽しい学校

- ①「くるめアクションプラン」の初期対応を徹底する。(毎日)不登校対策委員会で、ケースに応じた対応策を検討し全職員で共有する。(月1回)いじめアンケートを基にした教育相談を行う。(月1回)
【成果指標】不登校数が0人、いじめの解消率が100%
- ②安全教育に関する年間指導計画を作成し、地域と連携した児童の安全推進体制を整備し、避難訓練を実施する。(年3回)
- ③仲よし班を活かした児童主体で計画・運営する集会を開催し、自分や友達の活動のよさを振り返る活動を行う。(学期に1回)

【体力向上】

- ①体育のボール遊びや球技の時間に投げる力を高める練習をする。(体育の準備運動毎時間)
- ②週に1回学級のみんなで昼休みに外遊びに取り組む。「みんなて遊ぼうデー」
(「1校1取組」運動:縄跳び)
・体力アップシート活用率:目標 100 %
・スポコン広場登録学級数:目標 6学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①「めざそう!あいさつ日本一」を合言葉に、縦割りなかよし班でのあいさつ運動に取り組む。(週に1回)
- ②「もくもくそうじ」に取り組む。(毎日)
- ③学年ごとに作成した「家庭学習の手引き」をもとに自学に取り組む
【成果指標】毎日、自学に取り組む児童75%以上

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】自他の違いを認め、自他を大切にできる子どもを育てる。 [要綱 P 104~参照]
- 【特別支援教育】特別な支援が必要な児童の個別の教育支援計画・指導計画を作成・活用する。 [要綱 P129~参照]
- 【キャリア教育】自分の目標を持ち、目標に向かって努力しようという態度を育てる。 [要綱 P 95~参照]